

<第112回調査>

2018年9月25日

【本調査の目的】

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施していましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

【調査実施期間】

2018年9月11日(火)13:00~2018年9月18日(火)13:00
※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

【調査対象】

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

【調査方法】

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。
今回の有効回答数は596件。
※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

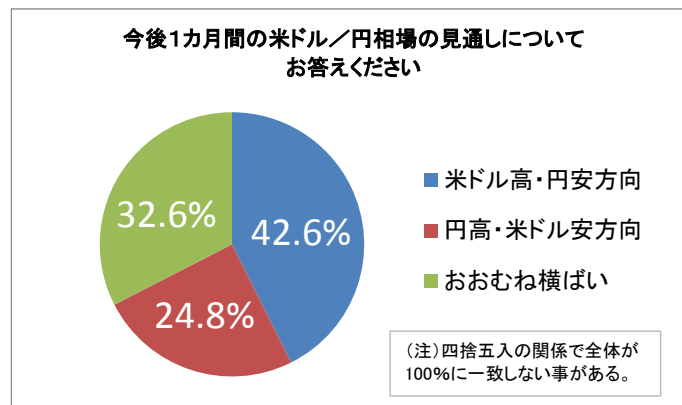
Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【第112回調査結果略報：米ドル強気見通しが復活】

問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

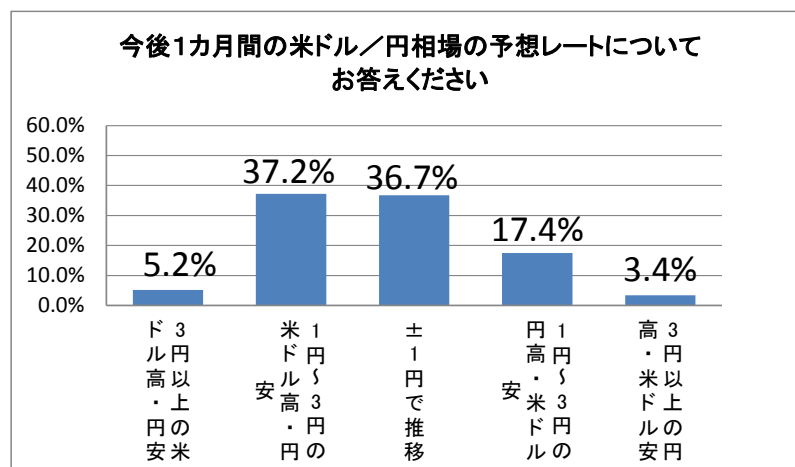
「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「米ドル高・円安方向」と答えた割合が42.6%であったのに対し「円高・米ドル安方向」と答えた割合は24.8%であった。この結果「米ドル/円予想DI」は△17.8%ポイントとなり、ほぼ中立だった前回(△1.6%ポイント)からプラス幅が拡大。今回は、強気見通しと弱気見通しが比較的高水準で拮抗していたが、今回の調査では強気サイドにやや傾いた。調査期間中の米ドル/円は、米中貿易戦争への懸念がくすぶる中でも111円台から112円台に上昇するなど底堅く推移。こうした堅調な展開が個人投資家の米ドル強気・円弱気見通しに繋がったと見られる。

※過去の米ドル/円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「1円～3円の米ドル高・円安」が37.2%と最も多く、「±1円で推移(36.7%)」、「1円～3円の円高・米ドル安(17.4%)」と続き、以下「3円以上の米ドル高・円安(5.2%)」と続き、「3円以上の円高・米ドル安」は3.4%という結果であった。ヒストグラムの形状は米ドル高・円安方向に傾いており、米ドル強気・円弱気見通しが示された問1の結果とも整合的だ。もっとも、「±1円で推移」の割合が比較的高い点から見ても、大幅な米ドル高・円安を予想する向きは多くないようだ。

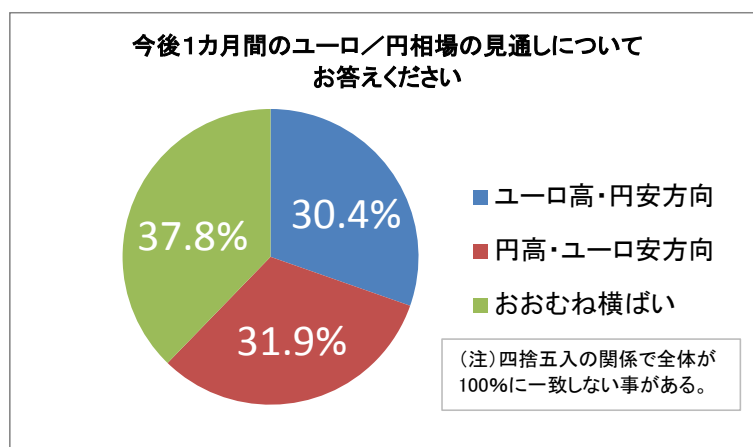


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

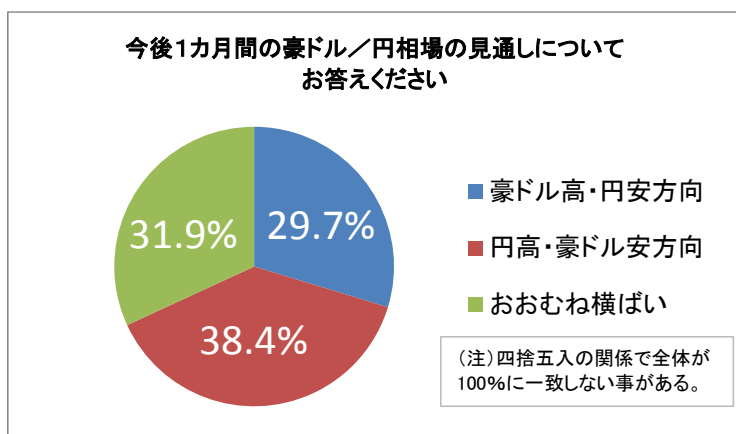
問3: 今後1カ月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が30.4%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合は31.9%であった。この結果、「ユーロ/円予想DI」は▼1.5%ポイントと、2カ月続けてマイナスDIを記録。ただ、マイナス幅は▼31.0%ポイントから大幅に縮小した。調査期間中のユーロ/円相場は、約1カ月半ぶりに131円台を回復するなど堅調に推移。イタリアの財政不安や英国の欧州連合(EU)離脱=Brexitへの不透明感が緩和する中、個人投資家の間でもユーロ弱気・円強気の見通しが後退したようだ。※過去のユーロ/円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問4: 今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が29.7%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は38.4%であった。この結果「豪ドル/円予想DI」は▼8.7%ポイントとなり、こちらも2カ月連続のマイナスDIとなった。ユーロ/円予想DIよりもマイナス幅(弱気度合い)が大きかったのが印象的だ。調査期間中の豪ドル/円は、79円台割れから80円台後半に持ち直すなど底堅く推移。しかし、米中貿易摩擦がヒートアップする中、中国の景気減速懸念が根強いと見られ、個人投資家の豪ドル相場への見通しが大きく改善することはなかったようだ。※過去の豪ドル/円予想DIの推移はP7-8に掲載。



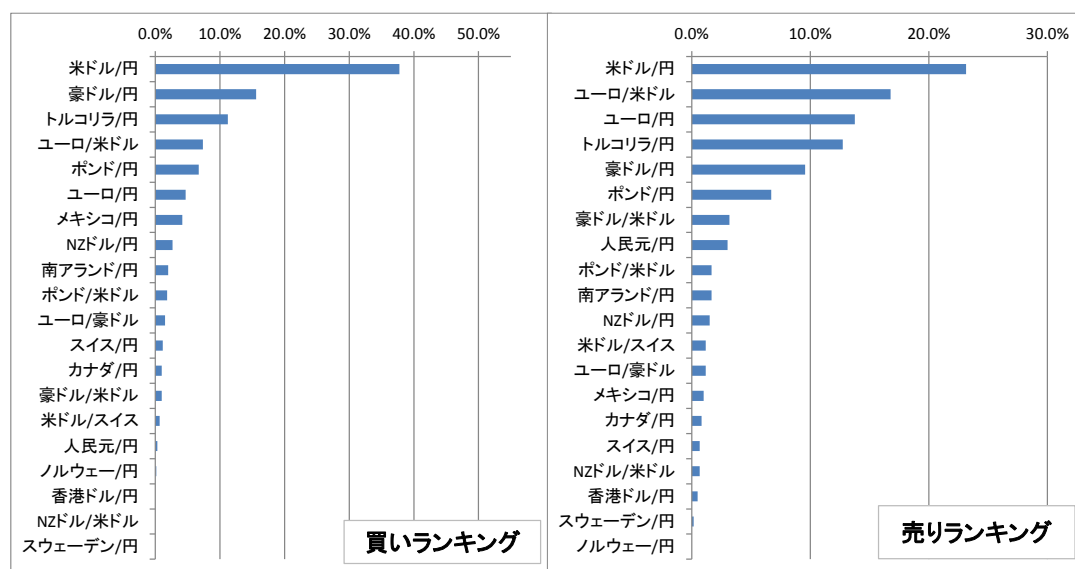
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が37.8%の回答割合を集めて首位をキープした。以下、豪ドル/円(15.6%)、トルコリラ/円(11.2%)、ユーロ/米ドル(7.4%)、ポンド/円(6.7%)の順に続いた。米ドル/円は72カ月連続で首位の座をキープした。前回まで6カ月連続で2位であったトルコリラ/円が3位に後退し、代わって豪ドル/円が2位に浮上。前回の調査期間中に発生した「トルコ・ショック」から約1カ月が経過し、トルコリラ相場は落ち着きを取り戻しつつあるが、個人投資家の買い意欲はむしろ後退しているようだ。

一方、「売り」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が23.2%の回答割合で23カ月連続でトップを維持。続いて2位がユーロ/ドル(16.8%)、以下ユーロ/円(13.8%)、トルコリラ/円(12.8%)、豪ドル/円(9.6%)の順に続いた。こちらでもトルコリラ/円が前回の2位から4位に順位を下げており、個人投資家の間でトルコリラへの興味・関心が薄れつつある様子が覗える。「買い」で注目と同様に、相場が落ち着き始めた事で、売り意欲も後退しているようだ。

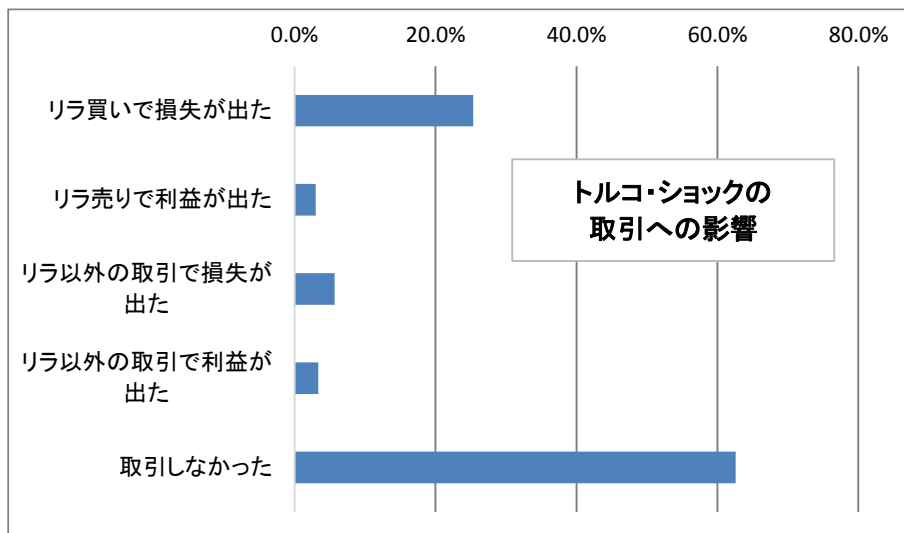


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問6:「トルコ・ショック」はご自身の取引にどんな影響がありましたか？(ひとつだけ)

今回の特別質問として、「トルコ・ショック」はご自身の取引にどんな影響がありましたか？(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「取引しなかった」が62.6%と最も多く、この中には「取引に影響はなかった」も含まれると見られるが、それでも多くの個人投資家が様子見姿勢を強めていた事が窺える結果となった。続いて多かったのは「リラ買いで損失が出た(25.3%)」であり、回答者の4分の1以上がリラを買い持ちにしていた事がわかった。一方で「リラ売りで利益が出た」割合は3.0%にとどまっており、高金利通貨の売り持ちを敬遠する個人投資家の姿勢が浮き彫りになった。その他、「リラ以外の取引で損失(5.7%)」、「リラ以外の取引で利益(3.4%)」はいずれも少なく、「トルコ・ショック」は、影響が広範囲に渡らない局地的なショックであった事を物語る回答結果となった。これらの回答の理由や背景を自由記述形式で重ねて尋ねたところ、「リラ買いで損失が出た」向きからは「ポジションの持ちすぎ」「損切りジャッジが遅すぎた」といった取引に係わる反省の弁や、「トルコと米国はNATO加盟国同士なので、あそこまで激しい応酬をするとは予想しなかった」「エルドアン大統領が利上げすると思った」など、自身の見通しに対する反省が多かった。一方、数少ない「リラ売りで利益が出た」向きからは「暴落直後に損切りして売り注文に変えたので利益が出た」との回答が寄せられた。なお、一般社団法人 金融先物取引業協会の発表によると、2018年8月に発生した「ロスカット未収金」は4400万円あまりで、このほとんどが「トルコ・ショック」によるものと見られる。2015年1月の「スイス・ショック」のロスカット未収金が33億8800万円であった事を考えれば、「トルコ・ショック」は比較的軽微なショックだったと言えるかもしれない。

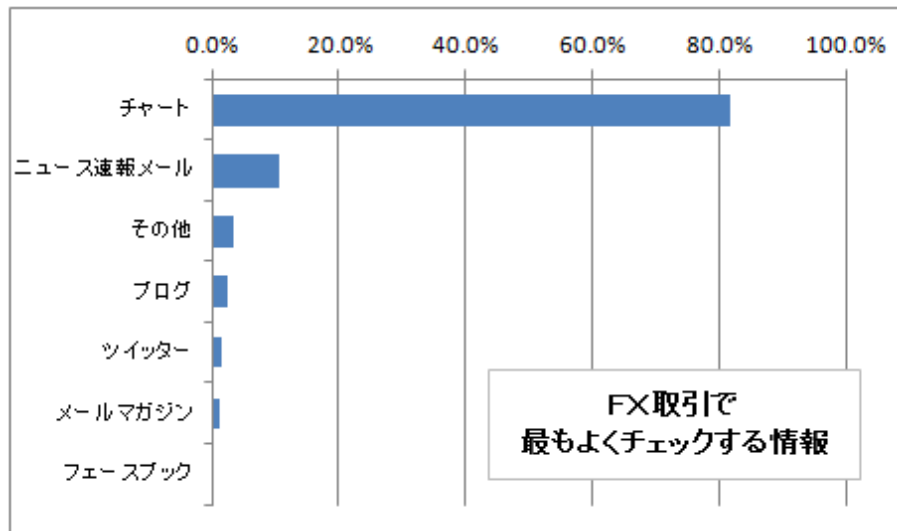


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問6:FX取引を行うに当たり、最もよくチェックする情報(ツール)は何でしょうか？(ひとつだけ)

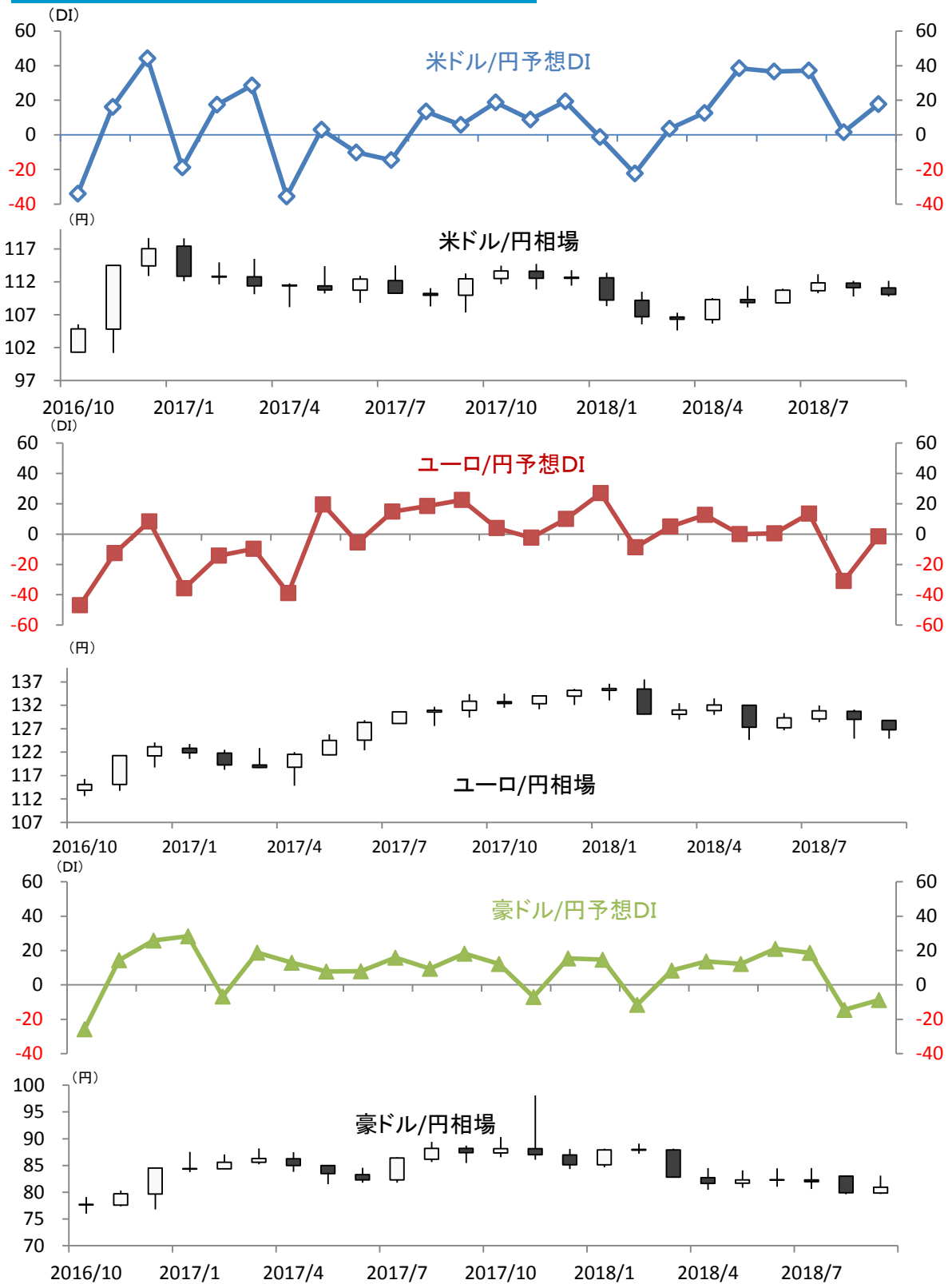
今回のもうひとつの特別質問として、「FX取引を行うに当たり、最もよくチェックする情報(ツール)は何でしょうか？(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「チャート」との回答が81.5%を占めて圧倒的に多かった。以下、「ニュース速報メール(10.2%)」、「その他(3.2%)」、「ブログ(2.3%)」、「ツイッター(1.5%)」、「メールマガジン(1.2%)」と続き、「フェイスブック」に至っては0.0%であった。「チャート」には全ての相場情報が織り込まれている」とするテクニカル分析の専門家は少なくないが、個人投資家の間でこれほどまでにチャート信奉者が多いというのはやや意外でもあった。他方、「ツイッター」や「フェイスブック」などのSNSツールの割合がここまで低いという点も、やや意外な結果であろう。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【付表:主要3通貨ペア予想DIと足の推移】



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第112回目となりました。調査開始から9年以上が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めていきたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年中央以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

		米ドル/円			ユーロ/円			豪ドル/円		
		米ドル高	米ドル安	DI	ユーロ高	ユーロ安	DI	豪ドル高	豪ドル安	DI
2016年	10月	57.3	17.6	39.7	24.2	37.7	-13.5	43.3	23.0	20.3
	11月	65.9	19.9	46.0	38.7	24.8	13.9	47.0	21.2	25.8
	12月	64.4	20.2	44.2	36.6	28.3	8.3	50.0	21.6	28.4
2017年	1月	35.2	54.0	-18.8	18.3	54.1	-35.8	28.9	35.5	-6.6
	2月	46.2	28.7	17.5	23.8	38.1	-14.3	41.9	23.1	18.8
	3月	53.3	24.7	28.6	27.6	37.4	-9.8	36.1	23.1	13.0
	4月	21.6	51.7	-35.5	17.7	56.6	-38.9	19.6	46.4	-26.8
	5月	38.4	35.3	3.1	45.9	26.5	19.4	34.9	27.0	7.9
	6月	33.3	43.4	-10.1	31.5	37.1	-5.6	33.7	25.7	8.0
	7月	30.7	45.2	-14.5	42.4	27.6	14.8	42.8	26.9	15.9
	8月	45.5	32.0	13.5	43.8	25.3	18.5	37.3	27.9	9.4
	9月	40.8	35.0	5.8	44.4	22.0	22.4	40.9	22.7	18.2
	10月	48.2	29.4	18.8	35.5	31.5	4.0	37.9	25.6	12.3
	11月	40.0	31.1	8.9	29.0	31.4	-2.4	26.9	33.8	-6.9
	12月	45.5	26.1	19.4	35.0	25.0	10.0	38.0	22.6	15.4
2018年	1月	38.0	39.2	-1.2	48.2	21.3	26.9	37.3	22.6	14.7
	2月	29.1	51.4	-22.3	30.1	38.9	-8.8	28.4	39.9	-11.5
	3月	39.6	36.0	3.6	34.0	29.0	5.0	38.6	30.2	8.4
	4月	42.8	30.1	12.7	37.9	25.3	12.6	39.0	25.3	13.7
	5月	57.4	18.9	38.5	30.3	30.3	0.0	34.9	22.6	12.3
	6月	55.5	18.9	36.6	33.0	32.5	0.5	39.5	18.4	21.1
	7月	58.1	20.9	37.2	37.9	24.3	13.5	40.3	21.6	18.7
	8月	37.3	35.7	1.6	22.1	53.1	-31.0	27.4	41.9	-14.5
	9月	42.6	24.8	17.8	30.4	31.9	-1.5	29.7	38.4	-8.7

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com